

報告書抄録

ふりがな	いどいせき							
書名	井戸遺跡							
シリーズ名	県営経営体育成基盤整備事業に伴う発掘調査報告書							
シリーズ番号	37-3							
編著者名	阿刀弘史、畑中英二							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課			財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	滋賀県大津市京町4丁目1-1			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2				
発行年月日	平成22年（2010年）3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査面積	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
井戸遺跡	湖南市 はり針	362	45	35°0'13"	136°5'22"	9,727㎡	2007.01.15 ～ 2007.11.30	県営経営体育成 基盤整備事業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
井戸遺跡	集落	縄文時代	土坑	縄文土器・石器	中期・晩期 緑釉陶器の素地多数			
	集落	古墳時代	ピット、溝、落ち込み、土坑	土師器・須恵器				
	集落	平安時代	掘立柱建物、溝、柵列、旧河道	土師器・須恵器・緑釉陶器・富寿神宝				
	集落	室町時代	ピット、耕作痕	土師器・瓦器・陶磁器				
要約	<p>縄文時代から中世に至るまでの遺物が出土した。主には古墳時代の遺構と平安時代の遺構を検出した。遺物では、緑釉陶器の素地が複数出土していることが注目される。緑釉陶器の材料として用いた可能性のある灰白色の粘土が、焼けて堆積している土坑が検出されており、これらを合わせると、緑釉陶器生産に関わっていた遺跡である可能性が指摘できる。また、調査区の北側では平安時代の土器の包含層が検出された。この包含層からは皇朝十二銭の一つ「富寿神宝」が出土している。</p>							